

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.12.13



「住みよいまちづくり」を考える

12月13日(水)、岐阜市芥見東公民館において第10回ぎふフューチャーセンターを開催しました。芥見東地区は、芥見東まちづくり協議会が主体となって、コミュニティバスの運営、地域の資源を生かした里山整備など、地域の絆づくりを目指してさまざまな活動を行っています。

参加した学生は、それらを実際に体験したり、地域活動実践者の説明や協議会の方のお話を伺ったりした後、地域住民の方々と、若者ができる地域活動や地域活性化策について対話を行いました。

提案の中には、「岐阜大学のボランティアサークルと連携し、運営側に参加してもらう」、「ボランティアでなく有償にする」など若者目線の意見が出されました。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

- ボランティアなどを行う大学のサークルに、空き家活用やイベント参加について呼びかけを行う。
- 若者に、地域のイベントに参加するだけでなく、企画・運営を担ってもらう。
- 若者への情報発信を積極的に行う。

今後の展開

提示された意見は、今後、芥見東まちづくり協議会の取り組みの参考とされることが期待されます。

担当者の感想

(地域コーディネーター 松原裕子)

地域の方々の温かいご協力を得て、終始和やかな雰囲気の中で意見交換を行うことができました。今回の対話やその様子から、人口減少や高齢化など様々な問題を抱える地域にとっては、今の若者の意見を柔軟に取り入れつつ、時代に即したコミュニティの形成を目指していくことが必要だと感じました。



芥見東自治会連合会
副会長

大野 利明 さん

若い人との活動に期待!

地域として若い人との接触ができていないと感じています。今回をきっかけに、今後も若者との関わりが続いていって、学生さん主体で(我々が応援して)何かできればいいと考えています。

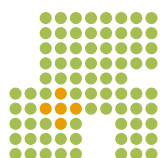


岐阜大学
地域科学部4年

衣斐 七海 さん

柔軟性がある地域、芥見東。

私の地元では、公民館を拠点にまちづくりを行っていて、その方たちに育ててもらったという意識が強くあります。また、芥見東の地域の方々は、大学生の意見を喜んで聞いてくださって、受け入れてくれる柔軟性がある地域だと感じました。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3880
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-3881
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点